

2017年(平成29年) 7月25日 火曜日

南信州新聞



ウェルネスタウンで記念植樹

ウェルネスタウンを視察

タウンミーティングを終えた阿部知事は、社会医療法人栗山会(千葉恭理事長)が同市仲ノ町に建設した地域包括ケア複合施設「ウェルネスタウン丘の上」を視察した。15日に開いた竣工式・落成式に出席できなかったことから、今回の

来飯を利用し足を運んだ。同施設は、高齢者、障害者または子育て世帯の居住の安定確保および健康の維持・増進を図るため、具体的に課題解決を図る先導的な事業の提案を募る、国土交通省の「スマートウェルネス住宅等

推進モデル事業」の選定を受けている。同事業には、全国から25事業の応募があり、選定されたのは4事業のみ。

「歴史的な景観を残す地区で、医療法人の事業と地域活性化をクロスオーバーさせるモデルの検証を行い、地方公共団

体のよるまちづくりの施策に、サービス付き高齢者向け住宅を位置付けた点」が高く評価されており、知事も「県内でも類を見ない地域包括ケアの複合施設。飯田地域における地域包括ケアの、飯田市中心市街地のまちづくりの拠点になる」と大きな関心を寄せていた。

この日、千葉理事長らの案内により施設内を見学した知事は、「まさに地域包括ケアの最先端をいく施設。こうした施設が県全体に広がっていけば」と期待。千葉理事長は「知事の言葉に、今後の運営に向け自信をいただいた」と話した。